

9. 管理運営計画

9-1. 東大雪地域の管理運営体制

- 中核施設（環境省ビジターセンター・町連携施設）を有効かつ効率的に管理運営するために、『（仮称）東大雪地域管理運営協議会』（以下、協議会）を設立する。さらに、中核施設の管理運営だけでなく、東大雪地域をフィールドとして自然環境の保全及び適正な利用について、効率的な管理運営、施設等の一体的な利用を図る。
- 中核施設は通年利用とし、四季に応じた活動を検討するとともに、多様な利用者への対応を図る。

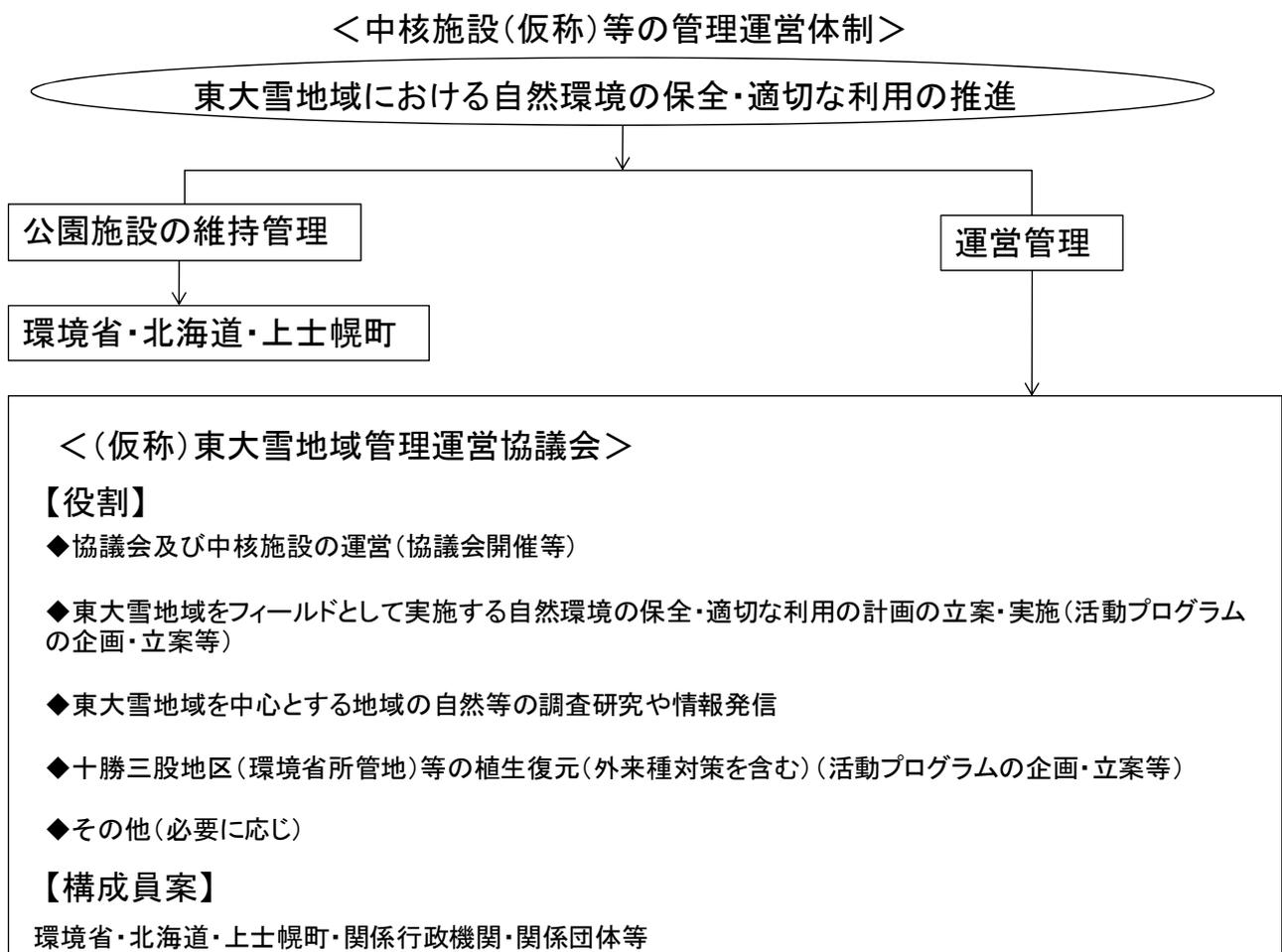


図 9-1 東大雪地域の管理運営体制

9-2. 活動プログラム

現在、地元 NPO が通年にわたって自然ガイドや自然環境教育、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群の見学解説等の活動を展開している。これまでに蓄積されてきた地域の取り組みをふまえ、ぬかびら源泉郷地区を拠点とした東大雪地域全体での活動の充実を図る。

9-2-1. コンセプト

- 東大雪地域の自然や歴史に触れることにより、地域や自然の大切さについて学ぶ。
- 東大雪地域の自然を回復させるため、外来種防除等の活動を行なう。

9-2-2. 基本方針

- ぬかびら源泉郷地区を拠点に、東大雪地域全体を活動フィールドとしてプログラムを展開する。
- 東大雪地域の多様な自然（森林、植物、動物、溪流、山岳、厳しい冬季の気象条件等）を活かす。
- 旧国鉄士幌線やアイヌの歴史等の紹介も通して、人と自然との関わりを知り、これからの関わり方について考え・行動する機会を提供する。
- 十勝三股の集落形成の歴史を学ぶとともに、本来の自然に戻す復元活動プログラムを検討する。
- 外来生物の防除を図る。
- 四季の変化、時間帯の変化を取り入れる。
- 地域と密着した活動内容を検討し、関係者間の密接な情報交換を通して地域との連携を図る。

9-2-3. 活動プログラム

活動プログラムのテーマ、活動形態及び実施時期の考え方を以下に整理する。テーマ、活動形態及び実施時期の組み合わせによって、多様な参加者の興味対象や能力・意識、滞在スケジュール等に対応できるよう、多様かつ柔軟なプログラムが用意されていることが望ましい。

(1) テーマ

- 東大雪地域の自然に親しむ（森、川・湖、山岳等の利用）
- 東大雪地域の自然を探る（森林、植物、動物 | 見つける、生態を知る、生息環境を評価する等）
- 人と自然との関わり（アイヌ文化、黒曜石、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋、地質、郷土史等から人と自然とのつながりを考える等）
- 東大雪地域本来の生物多様性をめざして（植生復元、外来種の防除、自然と人との共生等）

(2) 活動形態

- 自然体験・学習（観察・ガイドウォーク、講座・ワークショップ等）
- 環境保全活動等（植生復元、外来種の防除、森林学習、登山道の維持補修等）
- アウトドアスポーツ（カヌー、釣り、登山等）
- 食を通じた体験（季節の恵み、自然食材の有効活用等）
- 自然を題材・素材にしたクラフト・芸術活動

(3) 実施時期

- 上記のテーマ・活動形態を効果的に組み合わせ、一年を通して四季折々の活動プログラムを提供できるよう検討する。
- 外来生物の防除活動にあたっては、効果的な時期を検討する。

9-2-4. 実施体制及び資料作成等

- プログラム内容は、協議会にて策定する。
- プログラムの策定やパンフレット等作成にあたっては、地元 NPO や旅館等との連携を図る。
- ボランティアの協力を得る。
- 人づくり（利用ガイドラインの作成、ガイド養成、リスクマネジメント等）